

編修趣意書

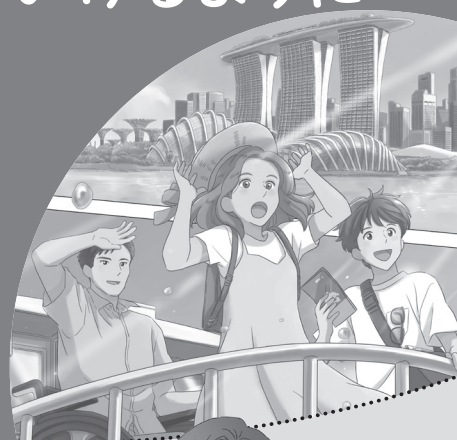
教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-72	中学校	外国語科	英語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	英語 038-82	Here We Go! ENGLISH COURSE 2		

▶ 1. 編集の基本方針

互いの違いを尊重し、ともに考え、 よりよい未来を切りひらいていけるように

次世代を担う子供たちには、予測が困難な社会の中でさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら新しい価値を創り出すことが求められています。この教科書で学ぶ子供たちが、外国語を学ぶことで広がる世界を楽しみ、自信をもって新たな一歩をふみ出せるよう、また、間違いを恐れずに世界の人とコミュニケーションを図り、ともに考え、未来を切りひらいていけるよう、次のことを基底において編修しました。



確かな英語の 力を育む

——「できるようになること」が
系統的に設計されている
教科書です。

・・・

各学年、学期、単元で生徒が身につける資質・能力を明確にし、目標達成までのプロセスの「見える化」を図りました。言語活動を系統的に編成し、インプットとアウトプットを繰り返すことで、資質・能力を育成し、定着を図ります。



自律的学習者を 育成する

—— 学ぶ楽しさとできる喜びを、
一人ひとりが感じられる
教科書です。

・・・

生徒が自分自身で英語の力を高められるような教材を随所に設けました。学習の際に、教科書を戻ったり進んだりして繰り返し参照し、自ら取り組み方を工夫することで、粘り強さや自分に合った学び方が身につくようにしました。



学びを、 社会生活や 未来につなぐ

—— 実社会で、広い世界で、
多様な人々とつながる喜びを
実感できる教科書です。

・・・

小学校の学びをふまえて、楽しく学ぶことができる教科書をめざしました。実社会で英語を使う場面や地球全体で取り組むべき課題を扱った教材を豊富に用意し、卒業後に広がる世界を想像しながら学べるようにしました。

特色

1

確かな英語の力を育む

——「できるようになること」が系統的に設計されている教科書です。



巻頭・巻末口絵、CAN-DO List

1つの学びが、次の学びにつながります。

- 教科書を通じた「英語を使ってできるようになること」にもとづいて、5つの領域の言語活動が系統的に設計されています。
- CAN-DO List は折り込み仕様で、領域別に整理されています。折に触れて目標の到達度を自己評価し、次の学びにつなげることができます。
- 巻頭の「この教科書の構成と使い方」、巻末の「2年生ではどんなことをするのか」、CAN-DO List で、学年全体の目標と現在地、目標に到達するまでの成長イメージなど、学びの見通しをもつことができます。

2年の目標：自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。



▲この教科書の構成と使い方



▲CAN-DO List



▲2年生ではどんなことをするのか



教材間の系統性

既習事項を活用できるように工夫しています。

- 主教材の Unit は扉・Part・Goal の3つで構成し、単元の目標 (CAN-DO) を具体化した Goal の活動に向かって学習を進められるようにしました。Goal には、Part の学習の振り返りを促すヒントやアイコンが設定されているので、教科書に戻って既習事項を繰り返し活用しながら、活動に取り組むことができます。
- もう1つの主教材である You Can Do It! (まとめの活動) は、Unit との系統性を意識して構成し、Unit の学習を着実にまとめの活動に生かせるようにしました。



▲Unit 7 Goal



▲You Can Do It! 3

「意見を理由とともに伝え合う」活動を、まとめの活動でも繰り返す。



Play Back the Story, Let's Read

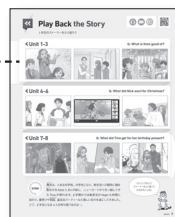
1年生の学びをスムーズにつなげ、発展させます。

- 巻頭に1年生の本文ストーリーを振り返ることができる Play Back the Story を用意しています。
- 小教材の Let's Read は段階的に語数を増やし、様々な文種に触れながら「目的に応じた読み方」を身につけられるよう、設問やヒントを工夫しました。

1年生の本文ストーリーを振り返ります。



▲振り返りを促すアイコン



▲Play Back the Story

特色

2

自律的学習者を育成する

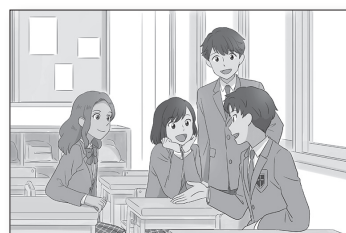
—— 学ぶ楽しさとできる喜びを、一人ひとりが感じられる教科書です。



Unit 本文

等身大のキャラクターが伴走します。

- Unit 本文には、4人の中学生たちが出会い、さまざまな出来事を経験しながら成長していくストーリーを設定しました。
- 異なる個性をもった登場人物が織りなすストーリーを通じて、社会の多様性に目を向けながら、自分や他者を尊重することの大切さを学べます。



▲左からTina, Eri, Kota, Hajin

✓ 巻頭口絵、英語の学び方ガイド

生徒が自分に合った学び方を見つけられます。

巻頭口絵

- 各学年の巻頭の折り込みページで、自分自身で英語の力を高めていくための学びのサイクルの例「見通す→やってみる→ふり返る」と、動機づけのための Tip を Q & A 形式で紹介しています。
- 巻末の「英語の学び方ガイド」、CAN-DO List をともに活用することで、自ら計画を立て、取り組み、振り返ることができる自律的な学習者を育てます。

英語の学び方ガイド

- 各学年の付録として「英語の学び方ガイド」を設けています。領域別の学び方や活動への取り組み方に加え、家庭での学び方も紹介しています。
- Unit の Goal 等、具体的な言語活動の中で活用することで、目的・場面・状況に応じた方法を自ら工夫する力を育成できます。

✓ ICT を活用しよう、思考の地図

学習を後押しする「道具」が満載です。

ICT を活用しよう

- 巻頭で、英語の学習に効果的な ICT 機器の活用方法を、個別学習／協働学習の場面別に紹介しています。Unit や You Can Do It! など言語活動のページでも、ICT 機器の効果的な使いどころを明示し、GIGA スクール時代の英語学習を後押しします。

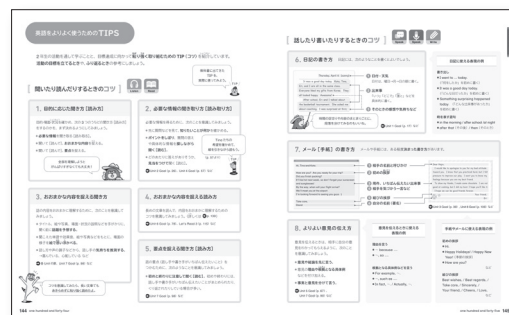
思考の地図

- 巻末で、英語の学習にも有用な考え方と思考ツールを、具体的な活用例とともに紹介しています。Unit の Goal や You Can Do It! などの言語活動のページでも、思考ツールの使いどころを例示しています。教科横断的に生徒の思考・判断・表現を後押しします。



▲巻頭口絵

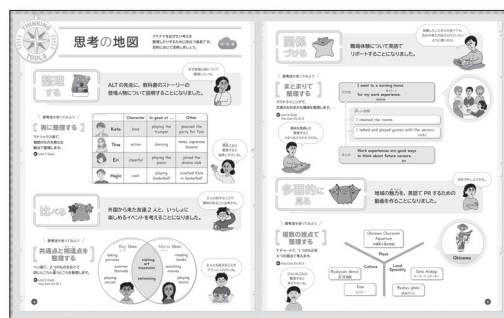
主体的に英語の力を高めるための学習サイクル



▲英語の学び方ガイド (巻末付録)



▲ICTを活用しよう (巻頭口絵)



◀思考の地図 (巻末付録)

特色

3

学びを、社会生活や未来につなぐ

— 実社会で、広い世界で、多様な人々とつながる喜びを実感できる教科書です。

✓ Daily Life, World Tour, Let's Talk!, Story Retelling 他

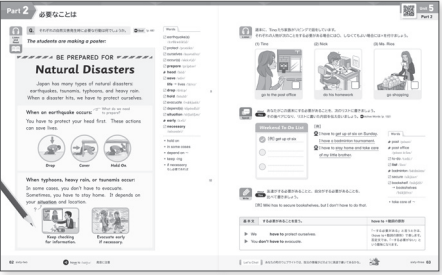
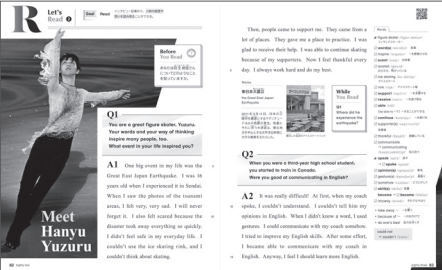
教科書の学びを、実社会へとつなげます。

- 小教材の Daily Life では、空港のアナウンスや電車の乗り換えといった実社会の言語使用場面で有用な表現を導入したり、オンラインツアーの案内等の素材を取り上げたりしています。付録教材の World Tour では、豊富な映像資料に触れながら、多様な文化や価値観を学ぶことができます。
- 帯教材の Let's Talk! や Story Retelling に継続的に取り組むことで、実社会で役立つ即興力や自分の言葉で話す力が身につきます。



▲Daily Life 3 アナウンス

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
全学年	- 教科書全体や各Unitの学習の流れを示し、自主的・自律的に学習する態度を養うことができました。【第2号】 - 学習者の言語能力と精神の発達段階に応じて幅広い知識と教養を身につけるため、また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、外国人を含む4人の中学生の登場人物を中心に、主に自分のこと→身の回りのこと→社会や世界のことへと徐々に関心を広げながら学習を進めることができました。【第1号】【第3号】【第5号】 - 実社会で使われている多様で豊富な素材に触れることで、実生活に生きる知識と教養を身につけることができました。【第1号】【第2号】 - 個人の価値を尊重しつつ創造性を養い、将来の職業生活についても意識することができるようになりました。【第2号】 - グループでの活動を通じて、自他の敬愛と協力の精神の大切さに気づくとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができました。【第3号】 - 生命や自然環境の大切さに気づくとともに、何ができるかを主体的に考えられる教材を用意しました。【第4号】 - 我が国の伝統文化や郷土を愛するとともに、他国に向けてそれらのよさを発信できる力を養う教材を用意しました。【第5号】 - 世界の多様な文化とそこに生きる人々についての知識を深め、男女の平等や多様性を尊重する態度を養い、よりよい社会の形成に主体的に参画する意識を養うための教材を、各学年に複数用意しました。【第3号】【第5号】 - 学年を通してできるようになることを示し、個人の能力を伸ばし、自主的・自律的に学習する態度を養えるようにしました。【第2号】	- この教科書の構成と使い方 - 全学年Unit本文、PartおよびGoal、You Can Do It!  ▲Unit 5 How Do We Stay Safe? - 全学年Unit、Daily Life  ▲Daily Life 7 オンラインツアー - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 全学年Unit、You Can Do It! - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 全学年Unit、You Can Do It!、Let's Read - 英語の学び方ガイド、CAN-DO List
2年生	- 生命を尊ぶとともに、協力を重んずる態度を養うために、「協働しながら災害対策を考え、防災バッグの中身を決める」ことを話題にしてUnitを構成しました。【第3号】【第4号】 - 個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、「協力して国際交流イベントの出し物を成功させる」ことを話題にしてUnitを構成しました。【第2号】【第3号】 - 伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うために、「わが町観光プラン」の提案や地域の魅力を伝えるかるた作りの活動、日本の文化である食品サンプル、歌を中心にアイヌ文化の普及に努める女性を題材にした読み物などを掲載しました。【第5号】 - 豊かな情操や自主・自律の精神を養うために、東日本大震災での被災を乗り越えた末に金メダルを獲得した羽生結弦選手の思いや考えを紹介した読み物を掲載しました。【第1号】【第2号】【第4号】 - 幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、日本発祥の絵文字とその使い方を題材にした読み物を掲載しました。【第1号】	- Unit 5 (pp. 59-67) - Unit 7, 8 (pp. 91-99, 101-109) - You Can Do It! 1 (pp. 46-47) You Can Do It! 3 (pp. 116-117) Let's Read More 1, 2 (pp. 118-121) - Let's Read 2 (pp. 82-85)  ▲Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru - Let's Read 3 (pp. 112-115)

▶ 3. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

学習上の参考にするための資料

- 教科書の中で、「二次元コード（QRコード）」が示された箇所には、音声の他、言語活動のモデル映像やスピーキングのテスト問題など、生徒の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできる資料を豊富に収めました。家庭学習にも資するよう工夫し、自律的な学習者の育成にも配慮しました。
- 巻末付録として、「英語の学び方ガイド」や「思考の地図」を収録し、目的・場面・状況に応じた学び方や、英語の学習にも有用な思考法・思考ツールを紹介しています。



特別支援教育への配慮

特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書をめざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

- 学習の流れを把握し、見通しをもつことが生徒の理解を助けます。そのため、巻頭の「この教科書の構成と使い方」、巻末の「2年生ではどんなことをするのか」、CAN-DO List で、各学年の目標、現在地、および目標に到達するまでの成長イメージを視覚的に捉えることができるようにしました。

色覚特性への配慮

- 図表は、色だけに頼ることなく線の種類や濃淡・地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどに留意して作成しました。

用字や書体に関する配慮

- 生徒が読みやすく書きやすいアルファベットの書体を独自に開発し、主に書く活動の部分等で使用しました。
- 日本語の表記は視認しやすく可読性の高いユニバーサルデザイン書体を使用し、見やすさ・読みやすさに配慮しました。
- 中学校以上の配当漢字や常用外漢字には、振り仮名を付しました（Word List を除く）。

A a

人権上の配慮

- 教材や挿絵、写真に登場する人物に性別による偏りがないよう配慮しました。また、人種・身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。

言語材料の配列・選定について

- 英検や CEFR-J・国際的な指標・英語話者や学習者の使用頻度等を参考に、使用すべき語彙を分析し、2年生の教科書で学習する中学校の語彙 614 語を設定しました。
- 特に重要な語は新出語欄に太字で示し、発信語彙の目安になるようにしました（2年生では 172 語）。
- 3 学年を通して小学校学習語 578（うち太字の語 417 語）を学習します。

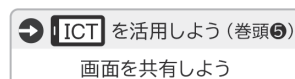
小学校からの接続について

- 1 年生の巻頭に置いた Let's Be Friends! では、小学校で学習した単語や表現を、少ない負担・時間数で効率よく学習できるようにしました。
- 1 年生の帯教材の Sounds and Letters では、発音とつづりを結びつける継続的な活動を通して、英語を音声化する力を育成できるようにしました。
- 小学校で既習扱いの語彙には、桜アイコンを付しました（全学年）。



ICT 機器の活用について

- 巻頭口絵の「ICT を活用しよう」では、英語学習に有用な ICT 機器の生かし方を、個別学習と協働学習の用途別に紹介し、教科書を使った家庭学習や教室での言語活動の中で参照できるようにしています。



編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-72	中学校	外国語科	英語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	英語 038-82	Here We Go! ENGLISH COURSE 2		

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

確かな英語の力を育む

——「できるようになること」が、系統的に設計されている教科書です。



着実に力を育む系統性

育みたい力がひと目でわかるように、各学年のテーマ・目標・活動を設定。

- ・巻頭で、各学年のテーマ（育てたい生徒の姿）を、メッセージとビジュアルイメージで提示しています。
- ・各学年で「できるようになること」を明確にするために、「学年の目標」を設定しました。さらに、教科書を3つのまとまりに分けて特につけたい力を設定し、見通しをもって学習を進められるようにしました。
- ・学年が上がるごとに言葉や文化への理解を深めながら、インプットとアウトプットを繰り返す中で、資質・能力の確実な定着を図ります。



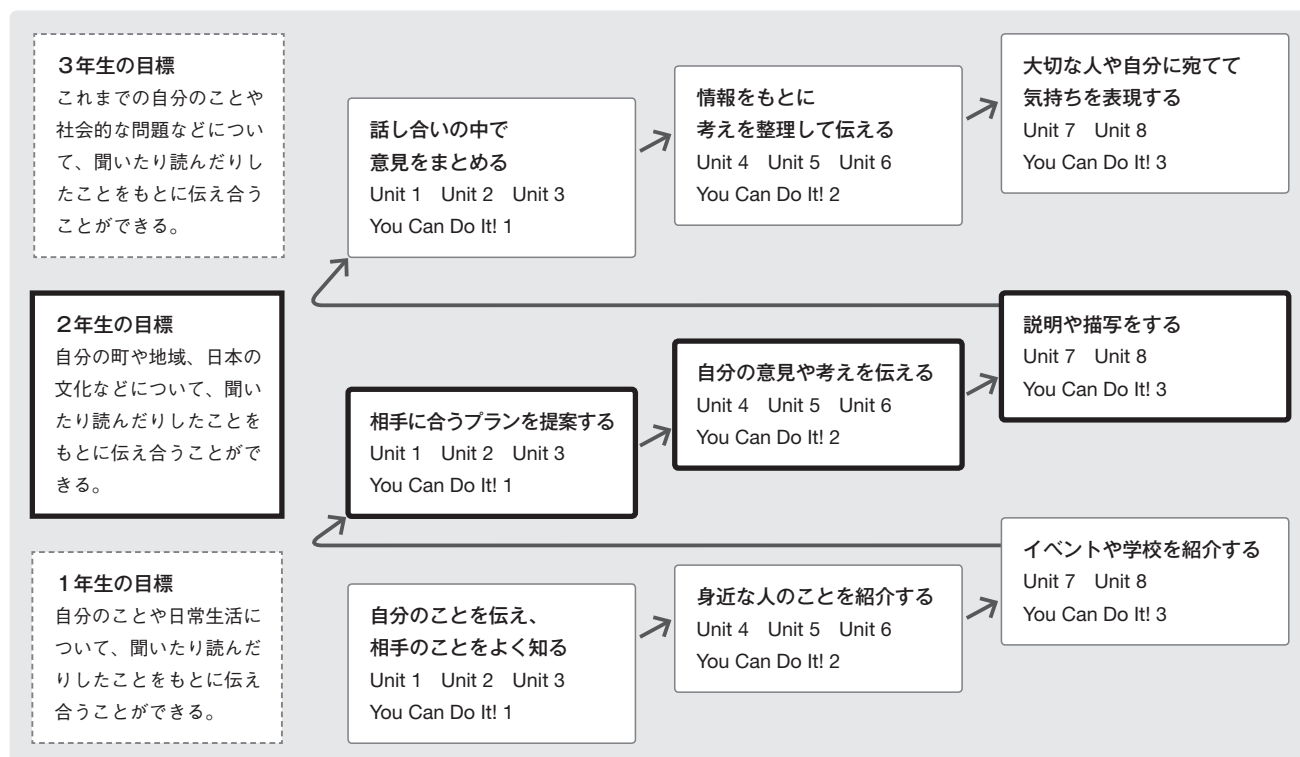
▲1年 Always make new mistakes!



▲2年 Grow with every new step!



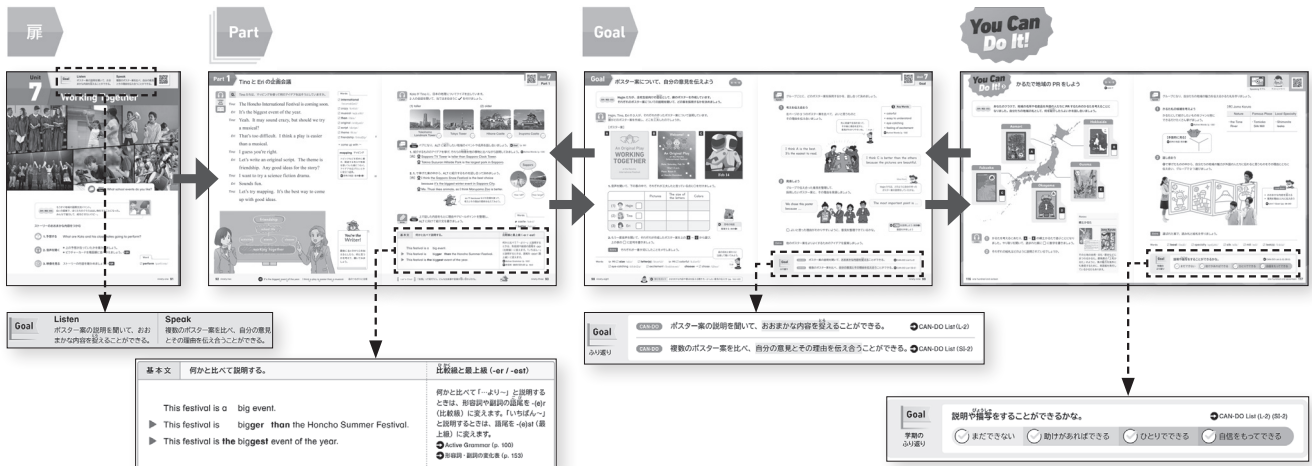
▲3年 Let's make this world better!



✓ 指導と評価の一体化につながる工夫

CAN-DO にもとづいた学びのサイクル

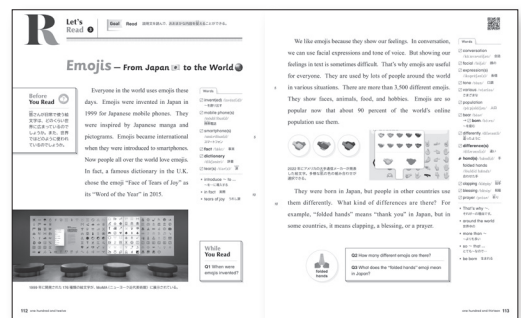
- ・「英語を使ってできるようになること」で単元を貫き、それに向かって学習を進められるように活動を設定しました。インプットとアウトプットを繰り返し、教科書を戻ったり進んだりしながら少しずつできることを増やしていきます。
- ・巻頭・巻末に学習を見渡せるページと CAN-DO List を用意し、どのようなことができるようになるのか、どのくらいできるようになっているのかを確かめながら学習を進められるようにしました。



✓ 1年生の学びをスムーズにつなげ、発展させる教材

英語を使う力を育てるために

- ・巻頭に、1年生のストーリーを振り返り、理解度を確認することができる Play Back the Story を用意しています。
- ・小教材の Let's Read では、段階的に読む語数を増やしながら、物語・インタビュー記事・説明文等の様々な文種に触れる中で、「目的に応じた読み方」を身につけることができます。



▲Let's Read 3 Emojis

特色 2 自律的学習者を育成する

— 学ぶ楽しさとできる喜びを、一人ひとりが感じられる教科書です。

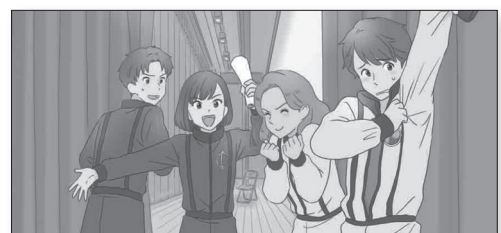
✓ 主体的・対話的で深い学びのために

「もっと英語が学びたい」ストーリー

- ・3年間ひと続きの個性豊かな4人の中学生の成長物語が、さらに充実しました。バラエティに富んだ題材や英文を通して、キャラクターとともに人間的に成長しながら、文法・文型や語彙などの基本知識の定着を図り、楽しく英語を学びます。また、UnitのPart右ページ下のLet's Chatでは、トピックに関する簡単な問いかけを用意して思考を促します。
- ・関連コーナーとして、ストーリーの続きや別エピソードを楽しめる Extra Story と、登場人物になりきってせりふの続きを考えることで思考・判断・表現の力を高める You're the Writer! を新設しました。



◀ストーリー関連コーナー
Extra Story (左)と
You're the Writer! (右)



▲個性豊かなキャラクターたち

- ・小教材の Active Grammar では、ストーリーの中で出てきた表現を再提示し、使用場面と意味や、文型・文法との結びつきをさらに強めます。
- ・帯教材の Story Retelling では、絵を使い、ストーリーを自分の言葉で伝える力を養うことができます。

思考・判断・表現のための工夫を随所に

- ・目的・場面・状況と、中間振り返りの観点を明示しました。
- ・目的・場面・状況に応じた思考・判断・表現ができるよう、活動の設定を工夫し、学び方の参考になる資料を用意しました。

英語の学び方ガイド(巻末付録)

- ・4技能5領域別の学び方や辞書の使い方の他、粘り強く言語活動に取り組むための TIP(コツ)を紹介しています。教科書中の活動とあわせて活用することで、より理解が深まります。

思考の地図(巻末付録)

- ・英語の学習にも有用な思考法や思考ツールの活用例を具体的な例とともに紹介しています。教科書中の関連ページとリンクしているので、目的に応じて活用できます。

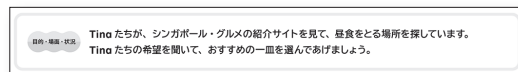
Active Words(帯教材)

- ・生徒が使いたくなる語彙を、イラストとともにカテゴリー別に整理して掲載しました。言語活動の中で使いながら語彙を学び、表現を広げることを目的としています。



▲Active Grammar

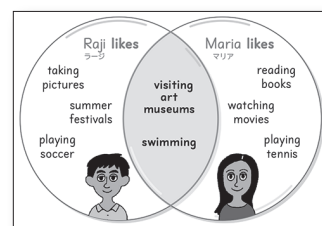
Story Retelling▶



▲目的・場面・状況を明示



▲英語の学び方ガイド



▲思考の地図

特色

3

学びを、社会生活や未来につなぐ

—— 実社会で、広い世界で、多様な人々とつながる喜びを実感できる教科書です。

✓ Daily Life(小教材), World Tour(付録教材)

実社会の場面や素材を豊富に用意

- ・Daily Life では、学んだことを実生活で生きて働く力にするための教材を豊富に用意しました。空港のアナウンスや電車の乗り換えといったリアルで具体的なコミュニケーションの場面と素材により、生徒が将来同じ場面に出合ったときに役立つ英語力が身につきます。
- ・World Tour では、豊富な映像資料に触れながら、多様な文化や価値観を学ぶことができます。

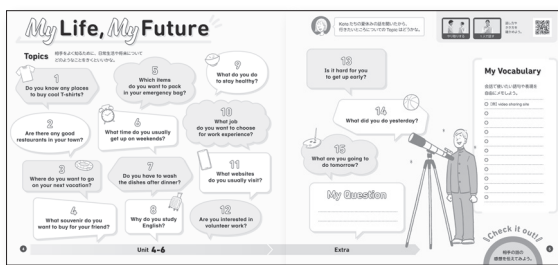


▲Daily Life 4 レストラン

✓ Let's Talk! (帯教材)

即興的なやり取りを楽しく繰り返す

- ・帯活動での活用を想定した、即興的なやり取りの力を育てるための教材を用意しました。
- ・「This Is Me」、「My Life, My Future」、「My Opinion」という、全学年共通の3つのテーマでの練習を通して、実生活で役立つ即興力を、継続的に育成できます。



▲Let's Talk!

編修上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	◆教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、特に次の点に意を用いました。 ①自主・自律の精神の育成、②自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成、③環境の保全に寄与する態度の育成、④我が国と郷土を愛する心の育成、⑤他国を尊重する態度の育成 ◆学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点を工夫し配慮しました。 ①外国語によるコミュニケーションの基礎的能力の育成、②外国語とその背景にある文化への理解、③思考力、判断力、表現力の育成、④コミュニケーションの目的や場面、状況に応じた言語活動、⑤学年や単元の目標の明確化と、振り返りへの配慮
2 内容と系統	◆学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材を選定・作成しています。 ◆各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を通して系統的に位置づけています。 ◆学習指導要領に示された言語活動例を段階的にもれなく扱うことができるように、教材を作成・配置しています。
3 配分・配列	◆各学年を大きく3つのまとまりに分け、全体を8つのUnitで構成しています。まとまりごとの教材数は、発達段階や学習の持続性を考慮し、バランスよく配列しています。 ◆各Unitでは、5領域の中で特に重点的に学習する領域を設定しました。目次やUnit扉では、重点的に扱う領域のアイコンを示しています。 ◆3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、教材数・領域のバランスを工夫しています。
4 教材の選定	◆各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、生徒の学習意欲を喚起するよう、内容・題材を選定しています。 【聞くこと】 目的や場面、状況に応じて英語を聞くことを重視し、各Unitでは本文ストーリーに加え、PartやGoalにも豊富な聞く活動を位置づけました。Unit扉やPartでは、Unit全体を通して聞いて概要を捉えたり、必要な情報を聞き取ったりする活動を、Goalでは、Unit扉に掲げた目標達成の度合いを確かめるための聞き取りの活動を設定しました。 【話すこと（やり取り）】 UnitのPartで、基本文に関連した即興的なやり取りを練習できる活動を設けている他、帯教材のLet's Talk!では、即興的なやり取りの力を継続的に高められるように工夫しています。 【話すこと（発表）】 各UnitやYou Can Do It! では、全体を通してやり取り・発表のいずれかに偏ることがないように、バランスに配慮しています。また、1～3年にかけて、身近なところから社会的な問題へと、生徒の発達段階に合った発表活動を設定しました。 【読むこと】 1～3年にかけて段階的に文字量や扱う文種を増やし、無理なく豊かなインプットを確保できるよう、構成しています。様々な話題や形式の文に触れられる小教材のDaily LifeやLet's Read、付録教材のLet's Read Moreを設けています。 【書くこと】 日記や手紙、メールなど様々な形式の文章を書く機会を設けています。
5 地域性への配慮	◆話題・題材は、地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスの取れた構成になっています。特に、付録教材World Tourでは、豊富な映像資料に触れながら、多様な文化や価値観を学ぶことができます。
6 他教科・日常生活等との関連	◆他教科等との関連が図れるように、題材の選定を工夫しています。 【国語】思考の地図【防災教育】Unit 5【インクルーシブ教育】Unit 6、You Can Do It! 2【美術】Daily Life 7など 巻末付録の思考の地図は、主に国語で学習する思考法や思考ツールの英語での活用方法を紹介しています。主教材のUnitとYou Can Do It!の中で、防災やインクルーシブ教育をテーマとして取り上げています。小教材のDaily Life 7では、ルーブル美術館のオンラインツアーという場面を設定し、美術鑑賞をテーマに言語活動を行います。
7 情報活用・ICT活用	◆各学年巻頭に、「ICTを活用しよう」を位置づけ、英語の授業の中でICT機器を有効に活用できるようにしています。 ◆「二次元コード（QRコード）」が示してある箇所には、生徒が学習を進める中で参考となり、さらに興味・関心をもって学べるアニメーションや映像、音声等を収めています。
8 表記・表現	◆表記・表現の基準は全学年にわたって統一し、適切な表記が身につくよう配慮しています。
9 挿絵・写真・図など	◆生徒が内容を推測しやすいよう、また、コミュニケーションの目的や場面、状況が分かるよう、写真やイラストを適切に配置しています。 ◆UnitのGoalの活動や、You Can Do It!では、活動の様子をイラストや写真で示し、言語活動を具体的にイメージできるようにしています。You Can Do It!では、二次元コードから活動の参考映像等も見られるようにしています。
10 製本・印刷・活字など	◆製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に色覚特性に対応するために、配色・色調にも配慮しています。 ◆原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆日本語の表記は、読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。 ◆1年小中接続期（Unit 1～3）のアルファベットについては、生徒が学習しやすい4線の幅に対応した手書きに近いフォントを独自に開発して使用しています。
11 特別支援教育への配慮	◆学習上支援が必要な生徒のために、またユニバーサルデザインに対応した教科書作りという観点から、特に以下の点に配慮しています。 ・情報のまとまりが認識しやすいように、デザインを工夫するとともに、5つの領域は生徒にも分かりやすいアイコンを付して示す。また、図版の周りを線で囲むなどして明確に区別できるようにする。 ・色覚特性に配慮して、色だけに頼ることなく、形や線の種類、濃淡、地紋などでも識別できるように作成する。また、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成する。
12 小学校との連携	◆中学校生活への不安をなくし、明るいスタートが切れるよう、1年のUnit 1に入る前の導入教材として小学校での既習事項を確認できるLet's Be Friends!を設けています。 ◆音声中心の小学校の学習をふまえて、1年の帯教材Sounds and Lettersでは、発音とつづりの関係を丁寧に扱います。 ◆小学校で学習する語彙には、桜アイコンを付しました。
13 その他の配慮事項	◆持続可能な開発目標であるSDGsについては、裏表紙にその意図を記すことで、授業で関連させて扱うことができるようにしています。 ◆感染症対策として、活動を例示する際のイラストでは机を少し離れた状態で描き、互いの身体に触れ合うような活動の掲載を極力避けるようにすることなどの配慮をしています。 ◆家庭学習で活用できるように、学習に必要な映像や音声などは全て二次元コードからいつでも確認できるようにしています。また、裏表紙には「家庭での学習に使える二次元コードコンテンツ」という説明を入れ、二次元コードを家庭学習に生かすよう促しています。

2. 対照表

言語活動 L：聞く R：読む SI：話す [やり取り] SP：話す [発表] W：書く 網掛けは主たる言語活動

2 年		学習指導要領の内容							該当頁	時数
図書の構成・内容	主な言語材料	言語活動					言語の働き			
		L	R	SI	SP	W	場面	働き		
Unit 1 Hajin's Diary 日記	動詞の過去形（復習） 接続詞 when SVC	ア、エ	ア、 ウ	ア	ア	ア、 ウ	ア	ア、ウ エ、オ	8-17	9
Unit 2 Basketball Tournament バスケットボール大会	動名詞 不定詞〈名詞的用法〉 接続詞 that	ア 、エ	ア	ア	ア	ア	ア	ア、イ ウ、エ	19-27	9
Unit 3 Plans for the Summer 夏休みの計画	be going to ～ 助動詞 will 接続詞 if	ア、エ	ア、 イ	ア	ア	ア、 イ	ア、イ	ア、イ ウ、エ オ	31-39	9
You Can Do It! 1	「わが町観光プラン」をおすすめしよう		ア、 イ			ウ	ア	ウ、エ	46-47	2
Unit 4 Tour in Singapore シンガポールにやって来た	There is / are ～ . SVOO 不定詞〈形容詞的用法〉	ア、エ	ア、 イ	ア	ア、 イ	ア	ア	ア、イ ウ、エ オ	49-57	9
Unit 5 How Do We Stay Safe? 災害に備えよう	must / must not have to / don't have to It's ～ (for us) to	ア、 イ エ	ア	ア、 イ	ア	ア	ア	ア、ウ エ、オ	59-67	9
Unit 6 Guide Dogs 盲導犬	不定詞〈副詞的用法・目的〉 接続詞 because 不定詞〈副詞的用法・理由〉	ア、エ	ア、 ウ	ア	ア	ア、 ウ	ア	ア、イ ウ、エ オ	71-79	9
You Can Do It! 2	誰もが楽しめるイベントを提案しよう	イ			イ		ア	ウ、エ	86-87	2
Unit 7 Working Together オリジナル劇を作ろう	比較級と最上級 (-er / -est) 比較級と最上級 (more / most) as ～ as ...	ア、 エ	ア	ア、 イ	ア	ア	ア	ア、イ ウ、エ オ	91-99	9
Unit 8 Performing a Play 力を合わせて	want ＋人＋不定詞 SVOC 受け身の文	ア、エ	ア、 ウ	ア	ア	ア、 イ	ア、イ	ア、イ ウ、エ オ	101-109	9
You Can Do It! 3	かるたで地域の PR をしよう	エ		イ			ア	ウ、エ	116-117	2
Daily Life										
1 電話	(This is ～ / Can you ～ ?)			ア			イ	ア、エ オ	18	1
2 ラジオのニュース		エ					ア	ウ	28	1
3 アナウンス		イ					イ	ウ	40	1
4 レストラン	(Shall I ～ ? / Would you like ～ ?)			ア			イ	エ、オ	45	1
5 電車の乗り換え	(May I ～ ? / Could you tell me the way to ～ ? / how to ～)			ア			イ	ア、イ ウ、オ	68	1
6 体調不良	(should)			ア			ア	ア、ウ エ	69	1
7 オンラインツアー			イ					ウ、エ	88-89	1
Active Grammar										
1 動名詞 / 不定詞〈名詞的用法〉			ア						29	1
2 be going to / will			ア						41	1
3 目的語			ア						58	1
4 助動詞			ア						70	1
5 不定詞〈形容詞的用法・副詞的用法〉			ア						80	1
6 接続詞			ア						81	1
7 比較表現			ア						100	1
8 受け身の文			ア						110	1
Let's Read										
1 The Cookies			ア、 ウ					ウ、エ	42-44	3
2 Meet Hanyu Yuzuru			ア、 ウ					イ、ウ エ	82-85	4
3 Emojis			ア、 ウ					ウ、エ	112-115	4
Let's Read More										
1 Plastic Food Samples			ア、ウ					ウ	118-119	(2)
2 Ainu, My Voice			ア、ウ					ウ、エ	120-121	(2)
World Tour										
1 English Around the World		エ						ア、エ オ	48	(1)
2 Working Around the World		エ							90	(1)
3 New Seven Wonders of the World		エ							111	(1)
Story Retelling				イ	イ				122-129	
Active Words									130-136	
Let's Talk!				ア	イ	ア		ア、オ	とじ込み	
									合計	103